



宇治電化学工業株式会社



製造技術の中核の一つの電気溶鉱炉

- 本社所在地：高知県高知市棧橋通5-7-34
- 事業概要：研磨材等の製造販売
- 常時使用する従業員：88名  
(2025年11月時点)
- 現在の売上高：27億円 (2025年11月期)
- 法人番号：1490001000230
- Web：https://www.ujiden-net.co.jp

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長  
川村 進一

技術開発を更に進め、顧客利益を実現し、社会の発展に貢献する

当社は、昭和14年設立。研磨材メーカーとして「削る」「磨く」素材を提供しながら、日本のものづくりを支えてきた。これからは、独自に構築した「電気溶融～粉碎～分級」における特殊設備と専門技術をさらに進化・拡張することで、研磨材メーカーから粉体材料メーカーへ事業領域を広げていく。顧客の利益を実現する技術パートナーとして従業員が誇りを持って働ける「挑戦の場」をつくり、地域の産業発展と次世代への技術承継を実現しながら、2036年に売上高100億円を達成し、日本のものづくりを支える素材メーカーへと成長する。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

- 粉体材料メーカーへの進化により、2036年の100億円実現を目指す。達成に向けて、以下3層構造による段階的成長戦略を展開する。
- ・ CORE：各種研磨材、セラミックス原料、自動研磨機械、自動研磨システム
  - ・ Growth：粉体加工受託事業、リサイクル事業
  - ・ Future Growth：セラミックス粉末素材提供、新機能性粒子事業

課題

Growthに位置付ける粉体加工ニーズが増加しており、生産能力は限界。要望に応じた開発・試作に対する小ロット対応や多品種ニーズに対しては、生産ラインの拡張が不可欠。また、製造工程において、本社工場と香我美工場の二拠点における工程分散によりリードタイムのロスや輸送コストが発生。これらの問題を解決する設備の増強と高度化を実現し、生産性向上に向けた自動化・システム化を進めることで、進化を目指す挑戦基盤を整備する。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

粉体加工の拠点となる香我美第2工場を新設し、自動化・ロボット化設備により生産ラインを増設する。これにより、多種多様な顧客要望にカスタム対応が可能となる。また、技術営業及び技術開発の機能が強化され、高付加価値製品の提供が実現する。さらに、国内バリューチェーン上で原料調達ソースを多様化し、リサイクル原料の有効活用等によるコスト構造の転換により収益性の向上と価格競争力の改善を実現する。これらの成長戦略によって得られた収益を原資に大幅な賃上げを実施し、地域、顧客、取引先、従業員の共存共栄を拡大させていく。

実施体制

代表取締役を統括リーダーとして、プロジェクト形式で実施。事業開発においては、全社員の知恵を結集するために各事業の第一人者が参加して企画推進。事業実施については、営業部門、製造部門、加工・管理部門、管理責任者、経理総務部門が連携して、迅速に実施していく。技術開発については、高知工科大学や法律事務所と連携。本プロジェクトは、企画段階よりメインバンクと連携しており、資金面やビジネス面での助言サポート体制が構築されている。

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

売上高100億円実現に向けた目標と施策

- ～2028年 香我美工場に第二棟工場を建設し、粉体加工受託事業、セラミック粉体素材提供事業の礎を築く。
- ～2030年 原料を海外に依存するだけでなく、国内を中心に使用済みの研磨材などの回収により、リサイクルによる生産の技術を確立する。
- ～2031年 既存事業の効率化を追求し、多品種少量生産にフレキシブルに対応できる体制を作り上げる。
- ～2033年 新素材の事業化に目途をつけ、他業種や地域とのアライアンスによる新会社を設立する。
- ～2034年 電気溶融による新規材料の生産体制を構築する。

売上高

